

准員丸山周吉君

演說

漢堡港

工學博士 近藤虎五郎君

私ハ前會ニハ皆サンノ御空腹ナ所ヲ詰ラヌ話ヲ長ク致シマシテ清聽ヲ濱シマシタガ今日ハ其ノ續ト致シマシテ漢堡ノ御話ヲ少シ致ス積デゴザイマス。

御承知ノ如ク此ノ漢堡ハ倫敦、紐育、リバプル等ノハ前途遼遠ナコトデアリマシテ唯美マシイヤウナコトバカリ御話ヲスルノデアリマスガ併シ多少御参考ニナルコトガアルカモ知レマセヌカラ暫クノ間御辛抱ヲ願ヒマス(圖ヲ指ス)此ノ漢堡ト申シマス市ハ五方里ホドノ市デゴザイマシテ人口七十二萬六千、即チ獨逸ニ於テハ柏林ニ次デノ大キナ市デアリマス、此ノゑるぶト云フ河ハ獨逸デハ二三番ノ大キナ河デアリマシテ流域十四万五千六百平方秆流路千百四十秆川幅ハ此所デ三百米アリマス、此ノ河口ノ所ヲくくすは一べんト申シマシテ是カラ百五秆ホド河下ニアリマス、此所ノ潮ノ尋常昇降ハ一米九十秆デシテ尙ホ是カラ先キ十里バカリ感シマス、コレカラ此所ノ發達ノ順序ヲ少シ申上ゲタイト思ヒマス(圖ヲ指ス)此ノ圖ハ小サウゴザイマスカラ成ルベク近クニ寄ツテ御覽ヲ願ヒマス、抑モコンナ河ガ昔カラアツタノデナイ、是ハ御承知ノ方モアリマセウガ今ハ立派ナ湖水ニナツテ居リマスガ昔ハ細ク流レテ居ツタあるす

てゐ川、ソレカラ此所ニびるれト云フ川ガアリマス、ソレトコノらいへるすち一ぐト云フ派川
 ガアツテ頗ル亂脈ヲ極ハメテ居ツタノデアリマス、ソコデ港ハ始メハ此邊(圖中)ヲ指スニアリ
 ツテ、十二世紀ニハ此所(ろヲ指ス)マデ、十三世紀ニハ此所(はヲ指ス)マテ廣ガツテ來タノデアリ
 マス、ソレカラ千二百五十八年ニ此ノびるれ川ヲ合シマシテ、ソコデ其ノ水ノ勢ヲ得マシタカ
 ラ此ノ邊ガ大分深クナリマシテ、サウ云フ有様デ先ヅ二百年ヤツテ居ツタ、ソレカラドウ云フ
 譯デシタカ千四百四十九年ニ此ノびるれノ水ヲ入レルコトヲ止メタ、スルト段々船モ大キク
 ナリマシ、水深モ足リナイト云フヤウナコトデ到頭今度ハゑるぶ河ヲ斯ウ云フ方向ニ切ツ
 テ落シタソレデ始メテゑるぶノ水ガ此ノ港ノ内ニ引付ケラレタ、ソレガ千五百五十年デアリ
 マス、所ガ又千五百七十年ニナツテ是カラ二里ホド上ノ所ヲ斯ウ云フ方向ニ掘ツタ、ソレカラ
 更ニ十七世紀ニナツテ此ノ中ヲ二里バカリ新シク掘ツタ、ソレカラ始メテ本當ノゑるぶ河ヲ
 港トシテ使フ様ニナリマシタ、ソコヲ名ケテに一でるは一べんト申シマス、ソレカラ十八世紀
 ニナツテ千七百六十八年ニ始メテぢゆつくだるべんト申シマシテ、外ノ港ニモアリマスガ七
 八本位大キナ杭ヲ打チマシテソレニ船ヲ繫グヤウニシタモノヲ此ノ河ノ中ニ一列ニ建テマ
 シタ、ソレカラ千七百九十五年ニ第二列ヲ建テマシテ、サウシテ船四百艘丈ケ繫グルヤウニシ
 マシタ、ソレカラ千八百四十年ニナツテ此ノに一でるは一べんハ最モ繁昌ヲ極ハメマシタガ
 段々汽船ガ來ルヤウニナツテ荷役ノ敏活ヲ要スルト云フ時勢デ到頭千八百六十六年ニさん
 とど一るニ船渠ヲ拵ヘルコトニナリマシタ、是ガ即チ漢堡ノ近來ノ港ノ始リト申シテ宜イノ
 デアリマス

此所ハ兩岸共所謂岸壁ニナツテ居リマシテ大船ガ直ニ膚接ケニナルコトノ出來ル船渠デアリマス。此ノ船渠ヲさんととーるはーべんト申シマスガ面積凡三万坪滿潮ノ時分ノ深サハ七米半アリマス、ソレカラぐらすぶるく、べとろれうむ……是ハ石油船バカリヲ收容スル所……すとらんど、まぐでぶるげる、ばーけん、せーげるしつふ……則チ帆前船ヲ收容スル所……はんざいんちやトスウ云フ順ニ船渠ヲ拵ヘマシタ、其ノ年代等ヲ申シマスト而倒デアリマスカラ會誌デ申上グルコトニシマス

船渠名	竣工年	面積 <small>(^{メートル})</small>	滿潮時水深	備考
さんととーる	一八六六	九、七	七、五〇	
ぐらすぶるーく	一八七二	六、六	七、七〇	
べとろれうむ	一八七六	七、八	八、二〇	
すとらんど	一八七九	三、四	八、二〇	
まぐでぶるぐ	一八八一	三、〇	六、九〇	二度擴張セリ
ばーけん	一八八七	一七、八	八、二〇	
せいげるしつふ	一八八八	三四、六	八、二〇	
はんちやざ	一八九三	三三、一	八、二〇	
いんちやざ	一一、〇	八、二〇	巾三百米	

是等ノ船渠ハ此ノ河ガ斯ウ流レテ居リマシテ成ルベク其ノ流ニ逆ラハヌヤウニ口ヲ設ケテアリマス。アリマス。

ス今申シタ船渠ハ皆ナ此ノ自由港ノ内ニ設ケテアリマス、尙此ノ内ニもるだう、ざれずぶれ
 一ト云フ船溜リガアリマスガ、是ハ海ノ船ヲ容レルノデハナイ、是カラゑるぶ河ヲ溯ル所ノ川
 船ノ爲ニ設ケタ船溜リデアリマス、其面積ガ四十八ヘクトー、ソレカラ茲ニ澤山ニ掘ツタ運
 河ガアリマスガ、ソレ等ヲ加ヘテ申シマスト自由港内ノ水ノ面積ガ凡三百八十町歩、之ニ陸地
 ヲ加ヘマスト即チ自由港ノ總面積ト云フモノハ九百八十七町歩バカリニナリマス、即ナ十方
 杆デアリマス、丁度三百萬坪バカリニナリマス、此ノ中ニハぶろむうんとふをすト云フ四千人
 バカリ使ツテ居ル鐵工場ヲ始メトシテ色々々ノ工場ガ設ケラレテアリマス、寫真ヲ示ス是ハ此
 所ニ海軍ノ望樓ガアリマスガ其ノ對岸カラ斯ウ云フ向キニ撮ツタ寫真デアリマス、ソレカラ
 是ハ川上カラ横向キニ撮ツタ所ノ寫真デ川舟ノ船溜リガニツ列ンデ見ヘテ居リマス、此ノ自
 由港ト云フノハ御承知ノ方モゴザイマセウガ、外國ヨリ此所ニ這入ツタ物貨ハ再び輸出スル
 ニハ無税デスガ、此所カラ國內ニ這入ル片ニハ税ヲ拂ハナケレバナラヌカラ税關監視ガ始終
 見張ツテ居ル區域デゴザイマス是ハ先刻申シマシタに一でるは一べんノ境界ニ水面ニ設ケ
 タ柵ノ寫真デアリマス、寫真ヲ示ス

斯様ニ船渠ガ段々ト出來マシタ、即チ港ノ發達シマミタ云フ近因ハ千八百八十八年ニ漢堡
 市ガ夫マデ這入ツテ居ラヌ所ノ所謂獨逸稅關同盟ニ這入ツタ、其ノ結果トシテ漢堡ニ這入ル
 貨物ニハ一々海關稅ヲ拂ハ子バナラヌ、ソレハ商工業ノ爲メ大變ナ不利益ナコトデアリマス
 カラ之ヲ省カウト云フ必要カラ斯ウ云フ三百萬坪モアル所ヲ區畫シテ自由港ヲ設ケタノデ
 アリマス、併シマダ是ダケデハ船渠ノ不足ヲ感ジテ字く一うゑるでるニ深九米三十釐ノモノ

三ツ造ツテ居リマス(圖ヲ指ス)此ノB C Dノ三ツガ殘ラズ出來上ガルト自由港内ノ水面積ガ七十六町歩バカリ増ス譯ニナリマス茲ニ一寸申上ケテ置キマスガ港内ニハ百五十八杆ノ鐵道ガアリマス

大體ノコトハコレデ仕舞ヒトシマシテ、今度ハ岸壁ノコトニ付テ申シマスト、此所ノ岸壁ハさんとどーる船渠ノ南側トぐらすぶる、一く船渠ノ両側ノ外ハ皆杭地形ノ上ニ造ツテアリマス杭ハ長十米デ斜ニ打ツテアルノモアリマス特ニ奇体ナノハド船渠デ殆ンド垂直ノ壁ト一割ノ法ガ相互ニナツテ居ツテ丁度櫛形ヲシテ居リマス、岸壁ノ高ハ滿潮面上最初ハ三米半デシタガ中頃ヨリ三米ニシテアリマス、岸壁ノ總延長ハ十六杆半則チ四里以上アリマスガ、其ノ船ノ着カウト云フ有効長ハ十五杆半デス、此數字ハB C Dノ分ヲ入レヌ勘定デス、ソレカラ船渠ト船渠ノ間ノ陸ノ幅デ一番廣イノハ無論新イ方デアリマシテC T Dノ間デアリマス、此陸ノ幅ハ百七十五米アリマス

ソレカラ陸上設備即チ上屋其ノ他ニ付テ申シマスト上家ハ船渠ノ縁ニハ大概アリマス、其ノ數ハ總テデ五十三棟アリマシテ延長デ二里半建坪デ八万坪アリマス、サウシテ之ヲ三種類ニ大別シテアリマス、三種類ト云シヨリハ寧ロ年代デ申シタ方ガ宜イ、第一ハ千八百六十六年カラ七十九年マデニ出來タ上屋デ岸壁ノ肩カラ柱マデガ十三米デ幅ハ不同デアリマスガ狭イモノデ十四米七十六粍、廣イモノデ二十五米七十粍、長サモ不同デ百三米乃至二百二十四米デアリマス、床ノ高サハ貨車ト同ジヤウニ出來テ居リマス、岸壁ノ所カラ直ニ車道ニナツテ居リマシテ、其ノ中ニ鐵道ノ爲メノれーるト此所ニ働ク所ノ起重機ノれーるトニツアリマス、上家

ノ陸ノ方ニハ鐵道線路ガ四筋敷^{トヨツ}イテアリマス、水ノ方ハ明放シテ陸ノ方ハ板ブツケニナツテ居リマス、偶ニ石壁ノ所モアリマス、併シ兩端ハ不燃質ノ壁デ家根カラ一米半突出シテ居リマス、家根トどらすハ木デアツテ上ニハびっちめんガ塗ツテアリマス、第二種類ハ稅關同盟加入即チ千八百八十八年カラ千八百九十二年マテニ出來タモノデ以前ヨリハ船モ大キクナリマシタカラソレニ合フヤウニ大キク掩ヘタモノテアリマス、長サ百六十七米乃至二百六十一米、幅二十一米乃至三十三米八十粍、相互ノ間隔十六米乃至廿五米デアリマス、ソレデ岸壁ノ肩カラ上屋ノ段マデハ十一米ニナツテ居リマスガ、其所ニ鐵道線路ガ二筋ト半門形ノ二噸半可動起重機ノ爲メノれーラガ一本敷設シテアリマス、此一種類ト申シテモ二種類ト申シテモ餘リ違ヒハアリマセヌガ唯風帆船々渠ノ北側ノ上屋ハ水ノ方ニモ明放シデナクなまこ板戸ガアツテ中ヲ覗ク爲ニ所々ニ三寸計ノ蓋ノ出來ル穴ガ設ケテアリマス、第三種類ト申シマスノハ一層大ナルモノデ長サガ二百五十米乃至二百六十二米幅三十米乃至卅四米アリマシテ相互ノ距離ガ二十五米乃至五十米アリマス、併シ其ノ水ノ方ハ皆ナなまこノすらいちんぐぞーあニナツテ居リマシテ、サウシテ電氣ノくれーんヲ使ツテ居リマス

以上ハ先づ普通ノ上屋ノ話デアリマスガ尙ホ特種ノ上屋ガアリマス、ソレハコノ(圖ヲ指ス)まぐでぶるげるは一べんニ沿フテニツアリマス、此ノ方ハ内地へ輸入スル所ノ品物ヲ直ニ貨車ニ移シテ持ツテ行カウト云フ所ノ上屋デアリマス、此ノ中ニハ鐵道ガ三筋這入ツテ居リマス、長サハ二百二十九米デ建坪ハ三千百四十坪バカリニナツテ居リマス、此所ニハ二噸半ノ水壓起重機ヲ水ノ方ニ三臺、陸ノ方ニ九臺置イテアリマス、モウ一ツコノ折曲ツタ所ニアルノハ是ハ果

物ノ上屋デ千八百九十七年ニ建テタモノデ二千百坪バカリノ所デアリマス、歐羅巴ノ南カラ來マス果物ヲ容レル所デ暖房ノ裝置ガアリマス、此所ニハ二噸半ノ電氣ノくれんガ八臺アリマス、其ノ力ハ一般市中カラ供給シテ居リマス、ソレカラ(CDヲ指ス)此所ノハ出來テ居リマセヌガ一ツノ長サガ四百米、幅ガ五十米ト云フオソロシイ大キナ上屋デアリマス、次ハ起重機デス、色々種類ガアリマスガ昨年一月一日ノ調ニ依ルト動クモノガ四百七十七台、固着シタルモノガ五十八臺是ハ水ニ面シタ側ニアルモノ、ソレカラ陸ノ方ニ五十六臺(内十台ハ二噸半電氣可動的餘ヘ皆手巻合セテ五百九十一臺アリマス、水ノ方ノ四百七十七台ヲ更ニ働く力別ニスルト蒸氣ノ分ガ二百七十三臺デ是ハ二噸半ト一噸半ト殆ト半分)デアリマス、其ノ次ハ手巻デ一噸ノモノデ百九臺、電氣ガ九十五臺、是ハ大概二噸半、ソレカラ固着シタモノハ五十八臺アリマスルガ一番大キイノガ百五十噸、次ガ五十噸、四十噸デ……是ハ手デモ行クヤウニナツテ居リマスガ、……皆ナ蒸氣デアリマス、其外瓦斯、水壓、手巻色々アリマス、蒸氣くれんノ壓力ハ十三氣壓デ取付ケハ九米乃至十米ヲキデアリマス、水壓くれんノ壓力ハ五十氣壓デ、是ハ裝置ガ容易ク出來ルカラ重寶デアリマス、併シ此所デハ電氣ノ方ガ寒氣ノ爲ニ凍ラナイト云フノデ段々流行シテ來マシタ、且ツ同ジ二噸半デゴザイマスト、蒸氣ヨリ經濟ダト云ツテ居リマス、くれんノ大キサヤ能率ニ付テハ他日詳シク御話ヲスルコトモアリマセウ、ソコデ今申シマシタ五百九十一臺總體ノ扛重力ハ百五十五萬噸バカリニナリマス、之ヲ岸壁ノ有効長ニ割付ケルト、一米ニ付百軒ノ扛重力ニナリマス、此點ニ於テハ漢堡ハ世界第一等ノ港デアリマス、即チくれんノ最澤山ニアル港デアリマス、

次ニ倉庫ノコトヲ少シ申シマス、倉庫ハ此ノ市ガ廣ガルニ從ツテ掘ツタ濠トあるする川ノ兩岸ニ建ツタ物ガ澤山アリマス、此ノ濠ヲ名ケテふれリてト申シマスガ其ノ狭イ割合ニハ高イ倉庫デアリマス、寫眞ヲ示ス併シ千八百八十八年ノ稅關同盟加入則チ自由港設定以來政府ハ(圖ヲ示ス)此ノ幅四十五米ノ運河ノ南ニ人口二萬モアツタ土地ヲ買上ゲテ倉庫敷地ト致シマシタ、ソシテ第一ニ出來マシタノハ此所デアリマシテ此ノ曲ツテ居マス所ノコナラカラ撮リマシタ寫眞ガ即チ是デアリマス(寫眞ヲ示ス)新イ倉庫ハ御覽ノ通リ五階乃至七階デ大層立派ナモノデアリマス一棟大概長サ百五十米乃至二百米幅廿八米乃至廿四米デ之ヲ平均四百最小二百七十平方米ノ室ニ區分シテアリマワ、即チ一室ノ面積ガ平均百二十坪最小八十坪ニナツテ居リマス、此所ハ地盤ガ惡ウゴザイマスカラ倉庫ノ地形ニハ長十二米ノ杭ヲ使ツテ居リマス、ろ一ぢんぐハ一番下ガ一平方米ニ付千八百疋デ一番上ガ五百疋デアリマス、倉庫ハ大概皆ナ水ノ淺イ所ニ建ツテ居リマスガ(圖ヲ指ス)此所ニAトBト名ケテアリマスノ丈ハ深イ水ノ方ニ接シテ居リマス、ソレカラ自由港ノ目的ヲ達スル爲ニ倉庫ノ内ニ於テ種々ノ製造業ヲ許シテアリマス、ソコデ此ノ自由港ノ三百萬坪ノ内ニ於ケル倉庫ノ總建坪ガ一萬二千六百坪バカリアリマス、各階ヲ皆ナ寄セルト七万四千坪其ノ容積ガ四十萬噸バカリニナリマス、是デ陸上設備ノ重モナルモノハ申上タ積デアリマス、其ノ外此ノ港ニ附屬シテ居リマス船渠ナドガ此ノ邊ニ見エテ居リマス(圖ヲ指ス)又此邊ニ浮棧橋ガアリマス、是ハ前回申落シマシタガ我々ノ一行ガ是カラ船ニ乗リマシタ所デ其ノ乗ラウトスル所ヲ撮ツタ寫眞デアリマス、翌日市中ニ賣ツテ居リマシタカラ買ツテ參リマシタ(寫眞ヲ示ス)

是カラ船舶竝ニ貨物ノ出入ニ付テ御話ヲシマス、此港ニハ莫大ナ金ヲ費シタニモ拘ラズ河下七十二浬間ニハ淺瀬ガ五ヶ所アリマシテ吃水二十尺以上ノ船デアリマスルト満潮前二時間カラデナクバ其ノ淺瀬ガ通レナイ、ソレデ御承知ノ如ク川口ノくツくすは一べんニモツテ來テ近頃大キナ船溜リヲ拵ヘマシタ、其處デ太西洋通ヒノ飛脚船ハ客ヲ降ロシ石炭ヲ積込ム爲ニ漢堡カラ二十二浬下ノぶるんすはうせんト云フ所マデ來マス、其ノ外此ノ河ノ爲ニ惡イノハ東風ガ吹クト水ガ低クナルノト冬水ガ張ルノデ誠ニ不便デアルドウシテモ川口ニモツテ來テ一ツノ良港ヲ拵ヘル必要ガアルデス、併シ中以下ノ船ヘ皆ナ直クニコノ所ニ來マスカラ此ノ港デ取扱ヒマスル所ノ貿易ノ高ハ實ニ夥シイモノデアリマス、先ヅ船ノ方カラ申シマスト一昨々年ヘ總テヨ一萬三千艘モ這入ツテ(六割八步ハ汽船)其ノ登簿噸數ハ八百萬噸(九割ハ汽船)出タモノモ殆ント同様デアリマス、此ノ内ばらすとノ船ガ出入共艘數デルニ割七分登簿噸數デ出ガ三割一步入ガ九步デアリマス、則ナ大概滿載シテ來ルト云フ譯デアリマス、這入りマシタ一萬三千艘ノ中デ岸壁ニ着イテ荷役ヲシマシタノハ四千八百六十五艘デ(九割二歩ハ汽船)艘數デ云ヘバ總體ノ入船ノ三割七步ニ當リマスガ登簿噸數デハ四百四十五萬噸デアリマスカラ五割五歩ニ當リマス、岸壁ノ有効長ガ一萬五千五百米デアリマスカラソレノ一米ニ付キ船ガ〇、三一四艘着イタ譯デアリマス、即チ一艘ヲ百米ト假定スルト岸壁ノ一米ハ船ノ三四米デ利用サレタ譯デアリマス、換言スレハ總テノ岸壁ハ一年間ニ舟一度船ヲ受ケタ譯デス、則チ操業ガ年中平等ニ行ハル、モノト假定スレバ一艘ノ荷役ガ十一日乃至十二日掛ツタ譯ニナリマス、次ニ岸壁ニ着ナカツタ船ハ八千二百三十七艘、噸數デ三百五十八萬噸アリマス

ガソレハドウ云フ風ニ荷役ヲシタカト云フト先刻申シタちゆつくだるべんニ繫ツテソコデ
荷物ハ川船ニ移シテ市中各所ニ運ンダリ河上各地ヘ持テ行ツタリシテ居リマス是ハ街路上
ヲ運ブカラ見マスト頗ル輕便ナ方法デスガ此ノ扱ヒヲ受クマスル荷物ハまつせんぐして
ト申シテ綿、珈琲ノ如キ大キナ嵩ニナル品物ガ多イノデ岸壁デ扱ヒマス荷物ハ比較的有價ナ
ル所謂すちゆつぐーてるデアリマス。

貨物ノ統計ヲ申スト是モ一昨々年ノ統計デスガ這入りマシタモノガ千疋ノ一頓デ九百八十
五萬頓其ノ貨物ノ價額ハ二十二億八千万馬克出マシタモノハ半分デ四百五十八萬頓其價額
ハ十八億千百萬馬克重モナル輸出品ハびーとるーとしゆがー即チ蕪ガラ取ル砂糖.....是
ハ日本ヘモ來マス.....ト珈琲.....是ハ再輸出.....ソレカラ輸入品ハ石油デアリマス、
此ノ貨物ノ中デ岸壁デドレダケ取扱ハレタカト云フト四五年前ノ統計ニ依ルト總體ノ四分
ノ一デスカラ、今ヘ出入ヲ合シテ三百六十萬頓、價ニスルト十億萬馬克ノ物ガ揚卸ロサレタト
云ツテ宜イ、是ヲ岸壁ノ有効長ニ割付ルト一米ニ付貨物ガ二百三頓、價ガ六萬六千馬克ニナリ
マス、又此ノ岸壁デ取扱ヒマシタル貨物ヲ上屋ノ面積ニ割付マスト一平方米ニ付貨物ガ十三
頓其ノ價ガ三千八百馬クト云フコトニナリマス.....ドウカモウ少シ御辛抱ヲ願ヒタイ、
此ノアトハ行政ノコトニ就テ少シバカリ申シマス、此ノ港ヲ司ツテ行ク所ノ様子ヲ見マスト
獨立市則チ國ガ總テノ船渠ヤ岸壁ヤ上屋ナドヲ所有シテソレヲ管理スル所ハかいふあるわ
るつんぐト云フ役所デアリマス、其ノ所長ハ市ノ商工部長ニ隸屬シテ居リマス、而シテ岸壁ハ
大概一般公衆ニ其ノ使用ヲ許シテ居ル、只ば一けん船渠ノ南側ナルベてのせん岸壁ハ漢堡亞

米利加線ガ永借シ又石油船渠ハ亞米利加ノすたんだレゴ石油會社ガ永借シテ居リマス、コノ漢堡亞米利加線ハ既ニC.R.ノ大船渠ヲモ借リル約束ヲ致シテ居リマス、ソレカラ自由港内ノ倉庫ハ此ノ赤ク塗ツテアル丈ガ國有デ大部分ハふらいは一ムゑん、らーゲルはうす、げせるしやふと即チ自由港倉庫會社ノ所有デアリマス、會社ハ特許ヲ受ケテ營業シテ居リマス、唯純益ノ幾分ヲ政府ニ納メルコトニナツテ居リマス、政府ノ倉庫ノ内ニハ稅關ガ方々ニ置イテアリマス、又郵便局ガ附屬シテ居ルノモアリマス、此ノ港ノ經濟ニ付テハ能ク調ガ出來マセヌデシタガ岸壁ノ收入ハ貨物ニ課スルモノガ大部分ヲ占メテ居ルサウデス、ソレカラ市ハ一昨年ノ一月一日ニ二億一千百萬圓ノ公債ヲ脊負ツテ居リマシタ、其ノ大部分ハ土木工事ノ爲ニ起シタ公債デアリマス、

元來此ノ港ノ斯様ニ繁昌シマシタ原因ト云フモノハ天然ノ位置ガ宜イ即チ廣イ水運系統ト鐵道交通ヲ有ツテ居ル爲メデモアリマセウガ、畢竟漢堡ノ商人等ガ進取ノ氣性ニ富ンデ居リマシテ遠大ノ政策ヲ過ラナカツタコトニ歸スルト思ヒマス、其ノ證據ニハ古イコトデハアリマスガ漢堡ノ少シ南ニばるどうゐつくて云フ町ガアリマシテ、ソレガ貿易場デアリマシタ、所ガ千百八十九年ニヘンリ獅子王ガソレヲ滅ボシタ爲ニ其處カラ此所ニ商賣ガ移ツタト云フコトモアリマス、レドモ千八百十年ヨリ十四年迄なばれをん一世ノ横領ノ爲ニ二億二千三百萬馬克ト云フ損害ヲ受ケ、其ノ後千八百四十二年ニ大火ガアリマシテ其ノ時ハ六千二百萬馬克ト云フ大損害ヲ受ケタ、ソレニモ拘ラズ益々繁昌ニナツテ來マシタ、本會々員ノ佐雙君ガ今ヨリ凡三十年前ニ行カレタ時分ニハ極汚イ街デアリマシタサウデスガ今日行ツテ見マス

ト汚イトコロデハナイ(圖ヲ指ス)此ノ邊ハ非常ニ奇麗デモアリ且ツ一般活氣ヲ帶ビタ所ノ市街デ私ハ實ニ羨マシク存ジマシタ、詰ラヌコトヲ長ク述べ清聽ヲ濱シマシタ。

○質疑應答

○會長(古市公威君) 近藤君ノ御演説ニ付テ何カ御尋ニナルコトハアリマセヌカ

○丹羽勲彦君 此ノ前ノ萬國航海會議ノ報告ニ依ルト上屋ハ是マデト少シク遠ツタモノチ設ケルト云フコトガアツタヤウニ記述シテ居リマスガソレニ付テハ御話ハアリマセヌカ、私ノ聞キマシタ所デハ外ノ上屋ハ第一ニ上屋ノ敷チ高クシテ貨物チ直チニ貨車ノ儘積込ムヤウニ便ニシテアルニセ拘ラズ漢堡ノ新シイ船渠ノ上ノ岸壁ハ平ニシテ更ニ一米ノ高サチ四十五分ノ一チ以テ高クスル方ガ便利ダト云フ考カラサウスルト云フコトガアリマシタガソレ等ノコトハ何カアチラテ御話ガアツタコトハアリマセヌカ

○近藤虎五郎君 別ニゴザイマセヌ、此所ニアルノハ多分く一うゑるでるノ設計ノ極ツテカラ畫イタ圖ダト思ヒマスガ、矢張リ兩側ニ段ガ付テ居リマスガ唯今御話ノ如クテアレバソレハDト云フ方ニアラウト思ヒマス、Dト云フ方ニハ著シク勾配ガ付テ居ル、段ノ所マデニ……

○丹羽勲彦君 ソレカラモウ一つ伺ヒタイ、B C Dノ今度ノ新ジツクニハぢゆつくだるぶチ設ケルト云フコトアリマシタガソレが出來テ居リマシタカ

○近藤虎五郎君 CトDニハ這入リマセメガBニハナカツタノアリマス、

○丹羽勲彦君 モウ一つ御尋ニシマスガ今度ノジツクノコトハ矢張リ航海會議ノ中ニモゴザイマシタガDト云フノハ勾配ヲ付ケテ荷積ノ荷卸チスルいんほるごノ方ノ上屋ハ二階造ニシテ至きすばるごノ方ハ平家造ニシテ置クト云フモウニ御互ニ場所ヲ變ヘルト云フコトモ闇キマシタガ、サウ云フコトハアリマセヌカ

(月十年六十三治明) 卷一百五十六 第二工學會誌

○近藤虎五郎君 上家ハ二階ガナイノデアリマス又サウ云フ風ニ分ケルト云フコトハ聞キマセヌテ
シタ

○石黒五十二君 上家ハ皆ナ平家テ.....

○近藤虎五郎君 二階ノ上家ハ出來テ居リマセヌ

○丹羽勲彦君 出來テ居リマセヌ

○近藤虎五郎君 左様

○石黒五十二君 斯ウ云フ櫛ノ齒ヲ蒸汽船ヲナイ帆前船ニ使ツタト云フコトデアリマスガサウテハ
アリマセヌカ

○近藤虎五郎君 ソレハビデアリマセウ乎、此所ハ大キナ船ヲ入レテ其ノ櫛ノ齒ノ所ニくれーんチ一
ツヅ、置ク積リダサウテアリマスカラ無論帆前船ノ爲テハナカラウト思ツテ居リマス
○石黒五十二君 専ラ帆前船ニ供スル爲ニヤルト云フコトデアリマシタが果シサウシタカドウカ
ト思ツテ居リマシタ

○近藤虎五郎君 此所ハ大船ノ着ク所デ全部きしニセメテ宜イ、櫛ノ齒ニシテ置ケバ宜イト云フコト
チ聞イテ居リマシタ

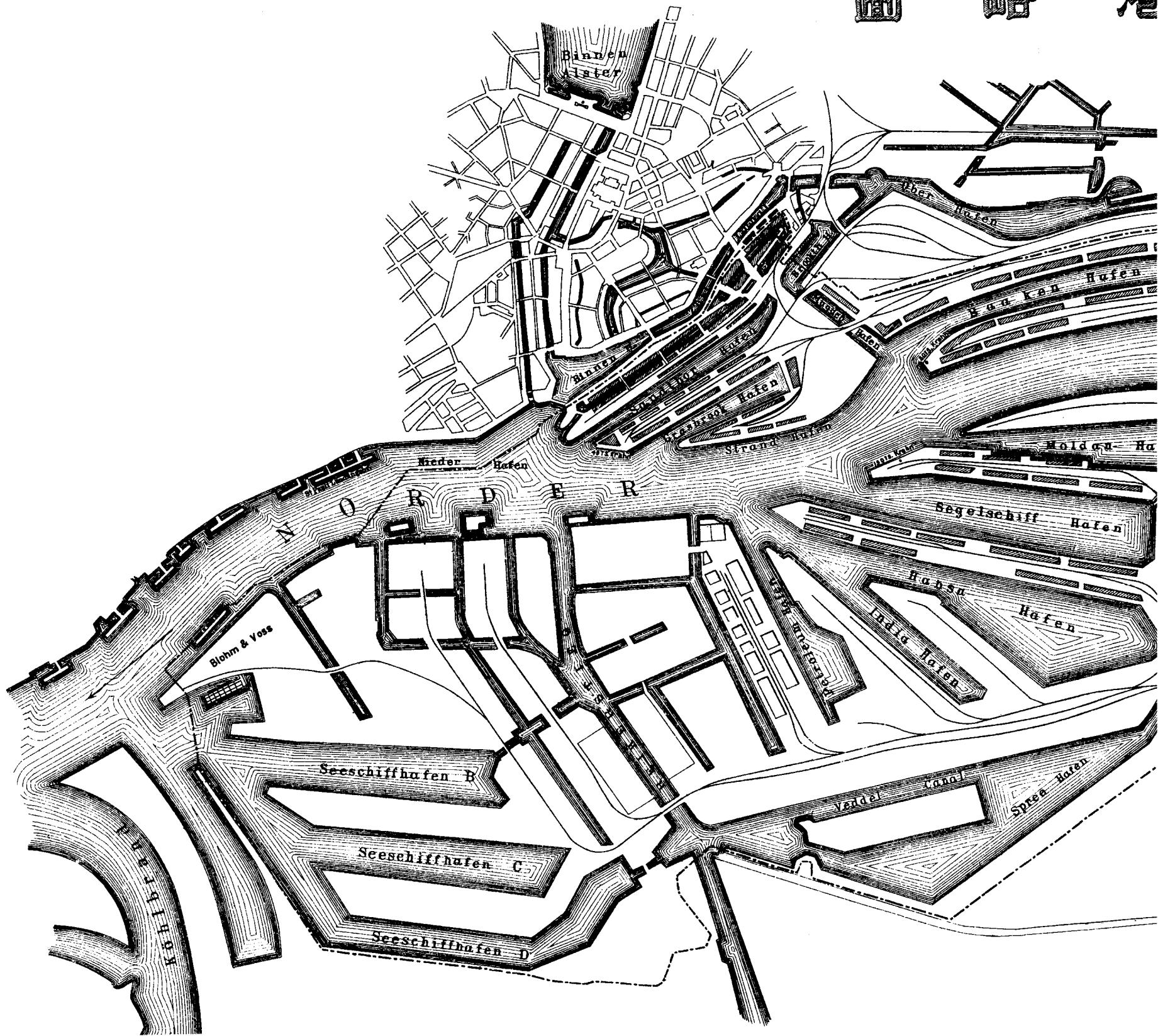
○石黒五十二君 實ハ専ラ帆前船ナヤルト云フコトデアリマシタカラ甚ダ奇異ノ思ヒテ爲シタノデ
アリマス、ソレデブナタノ御出テノ時ニハぶろむふなスト云フノハドウデアリマシタ近頃ハ立派
ニナツヲ船ナドチ製造スルト云フコトニナツテ現ニ軍艦ノ注文チ取リニ參ツテ居リマス

○近藤虎五郎君 更メテ申上マスカ斯ウ云フコトニナツヲ居リマス、Bニハ私ハ認メマセヌテシタガ
ぢゆつくだるべんチ一列ダケ打ツコトニナツテ其ノ兩方ニ帆前ガ着クヤウニナツテ居リマス、ソレカラ
CモDモ矢張リ真ン中ニ一列チ打ツヤウニナツテ居リマス、C,Dハ汽船バカリニ使フ、櫛形ノ所ハ帆前

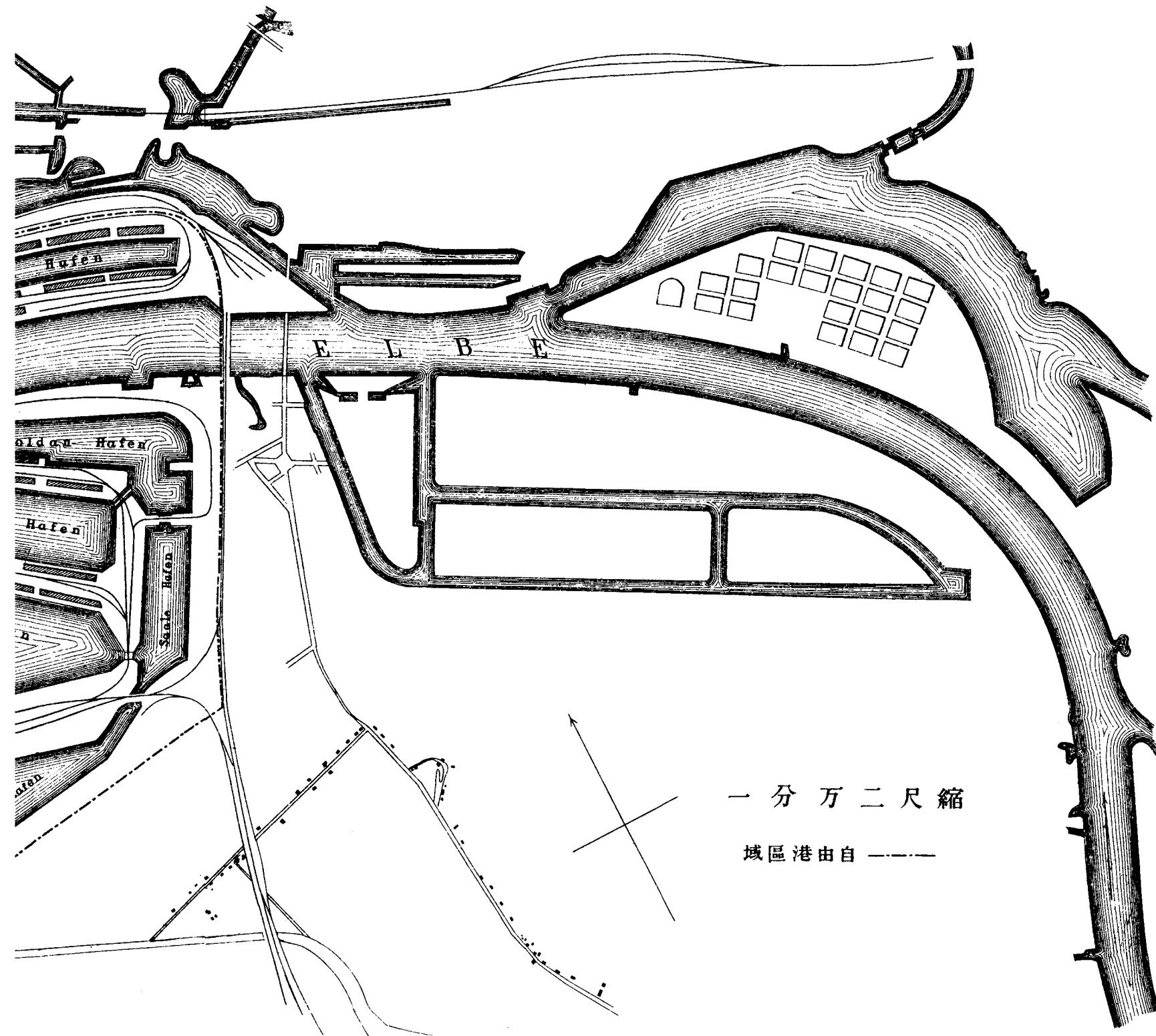
(月十年六十三治明) 卷一百五十六 第二工學誌

- 着カナイ汽船ガ着イテ居リマス、
- 會長(古市公威君) B デハ船ガ四列ニナルノテス子
- 近藤虎五郎君 サウデス
- 會長(古市公威君) B ノ幅ハ……
- 近藤虎五郎君 幅ハ B モモ同ジテアリマスガ、入口テ二百米、奥ヘ行ツテ二百三十米バカリテアリマス
- 石黒五十二君 是ガ櫛形ニナツテ居ルノテス子
- 近藤虎五郎君 サウデス
- 丹羽勲彦君 漢堡ニハドノ種類ノ起重機ガ用井ラレテ實際實用的ニ使ハレテ居リヤスカ
- 近藤虎五郎君 實用的ノハ是カラ先キハ恐ラクハ電氣ニナルダラウト云ツテ居リマスガ、今ハマダ蒸汽テゴザイマス
- 丹羽勲彦君 私ノ御尋スルノハ詰リ一噸牛トカニ一噸半トカ云フ種類アリマス、或ハ一噸牛ノ貨物カ多イカラ一噸牛ノ起重機ヲ設ケルガ利益アルカ或ハ所ニ依ツテハニ一噸牛ノガ宜イトカ或ハ五噸トカ三噸トカ云フ何カ其ノ種類ニ付テ漢堡テ別ニ多ク使ハレテ居ルト云フヤウナコトヲ御調ニナツテ居リマスカ
- 近藤虎五郎君 ソレハ別ニ調ベテアリマセメガ今マデカニ一噸半ガ一番多イテスカラ是カラ出來ル所ノ電氣くれんモ大概ニ一噸半ダラウト思ヒマス
- 玉木辨太郎君 もしたレハーツテスカニツテスカ
- 近藤虎五郎君 一ツノ様テスカ特別ノ小サイも一カくれんチ回ハス爲ニ附イテ居ルノダト

港

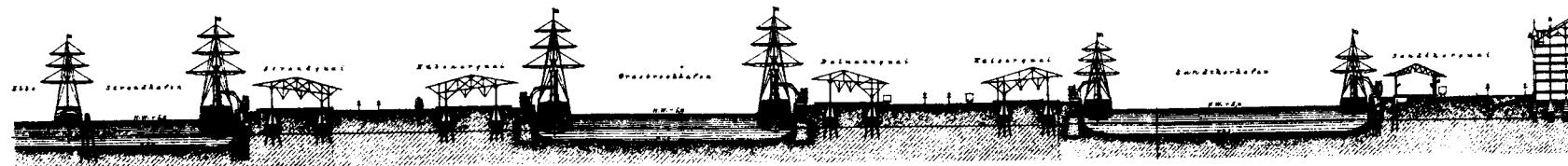


港 堡 漢

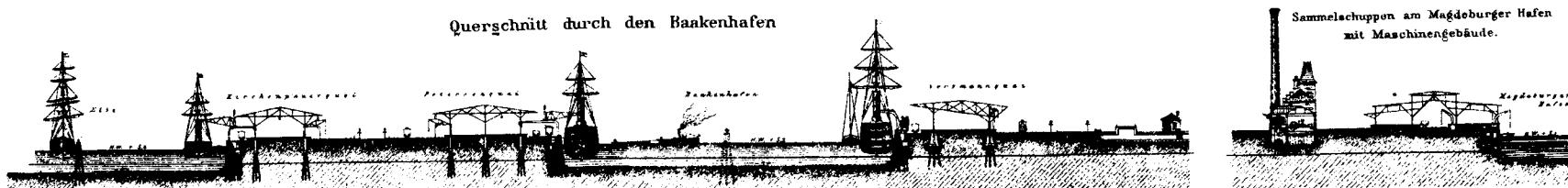


域區港由自 ——

Querschnitt durch die Quaienlagen auf dem grossen Grasbrook

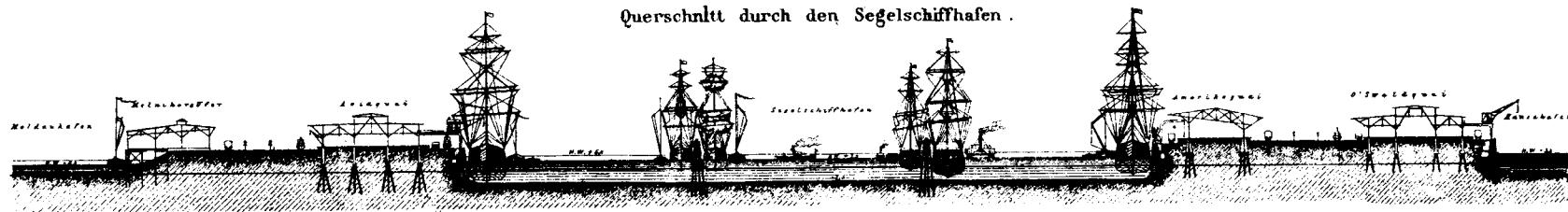


Querschnitt durch den Baakenhafen

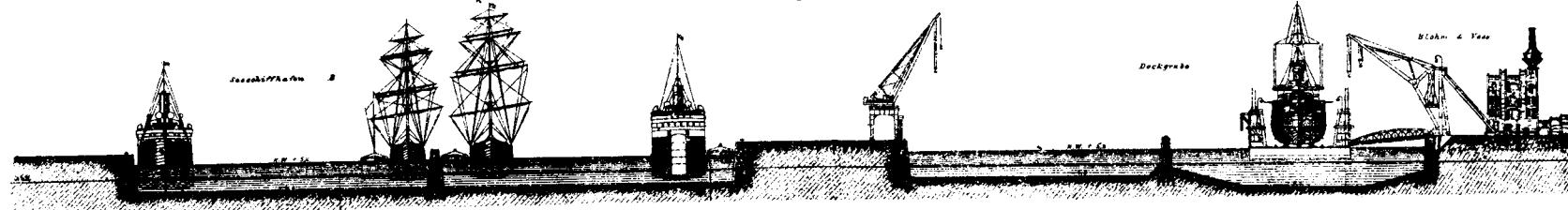


Sammelschuppen am Magdeburger Hafen
mit Maschinengebäude.

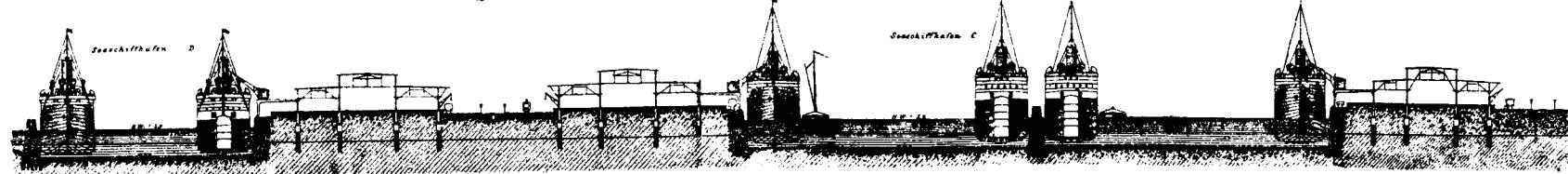
Querschnitt durch den Segelschiffshafen.



Querschnitt durch die Hafenanlagen auf Kuhwärder (Nördlicher Theil).



Querschnitt durch die Hafenanlagen auf Kuhwärder (Südlicher Theil)



0 50 100 150 200 250 300 Meter

○會長(古市公威君) 水モ使ツテ居リマスカ

○會長(古市公威君) モウ御尋ハアリマセカ、ソレデハ近藤君ニ御禮ナ述べテ此ノ會チ閉ヤマ、漢堡ハ築港ノ方テハ我々ノ御手本トスル。港アアリマス、先達ツテモ松方伯ノ戻ラレテノ話ニ獨逸皇帝ニ拜謁ノ時ニ皇帝が漢堡港ヲ見テ吳レト言ハレタト云フコトニアリマス、ソレ程ノ港デアリマスカラ此ノ港ノコトハ我々土木ノ方ノモノハ深ク研究シテ見タイト思フ所デアリマス、然ルニ近藤君カラ細密ナ御報告ガアツテ大イニ参考ニナリマシタ。茲ニ近藤君ノ勞チ謝シマス、今日ハ閉會シマス。

論說及報告

○いんふりうゑんすらいん(Influence Line) ① 就テ

井上清介君

○いんふりうゑんすらいんトハ應力計算上一ツノ便法ニシテ如何ナル種ノ結構(Structures)ト雖モ之ヲ應用スルコトヲ得ベシ就中三蝶鉄拱(Three hinged Arch)肱木形橋(Cantilever Bridge)等ニ應用スルトキハ普通ノ方法ヨリ一層精密ナル結果ヲ得ベシ原來此ノ算法ハ吾師すゑん(Prof. G. F. Swain)教授ガ千八百八十七年中米國土木會ニ寄書シタル以來同國ニ於テ此種ノ教科書ニ表レ又此ノ便法ヲ用ユル者多シ吾輩モ嘗テ全教授ノ教下ニ在リテ此ノ算法ノ便利ヲ知ル一人ナルヲ以テ淺學ヲ顧ミズ茲ニ該法ノ特性ヲ摘記シ次ニ前記三蝶鉄拱并ニ肱木形橋ニ